

【企業会計】

水道事業会計には一般会計から1千9百万円が繰り入れられましたが、2百万円の純損失となりました。給水量の減少により料金収入が減少する一方、施設の老朽化による修繕費などがかさみ、更新が必要な箇所も増えています。

病院事業会計には一般会計から1億2千万円の繰り入れがされています。当年度末処理欠損金は4億1千7百万円に増加しました。

この事業は指定管理者によって運営されており、医業収益はすべて指定管理者に収受されるため一般会計からの繰り入れに頼らざるを得ませんが、町民の健康を守るうえは止むを得ないものと思われ、地域に信頼される病院」として継続するよう、今後も安定経営に努めるようお願いしました。

両会計とも経常経費などの削減に努め、健全財

政を堅持するようお願いしました。

【町税などの滞納について】

全会計で総額15億6千万円あまりの滞納と、1億1千万円の不能欠損(回収不能)がありました。

昨今の厳しい経済状況の折り、大多数の町民が必死の思いで納税してい

る中で、このような状況が続くと納税意欲の低下や行政不信を招く恐れも心配されます。

町民負担の公平性を確保する上からも、更なる徴収努力を行い町民の信頼と安定財源の確保を図るようお願いしました。

【別表】 滞納・不能欠損の状況 (千円)

	滞 納 額	不能欠損額
町 民 税	60,310	2,860
固 定 資 産 税	1,261,832	97,783
町有地貸付料	29,234	0
国民健康保険税	83,154	3,463
下水道使用料等	36,572	340
水 道 料	70,440	3,864 (漏水減免含む)
そ の 他	19,061	1,882
合 計	1,560,603	110,192



不能欠損：何らかの理由で徴収が行えず、その徴収を諦めること。